長洲町立長洲小学校　校長便り　№１４３

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和５年１２月１８日(月)

１２月に入った頃から先週まで、師走とは思えない気温が続いていましたが、昨日は冷えましたね。やっと歳の瀬という気がしてきました。

今週末は冬休み前集会が実施されます。子供達の気持ちは既にクリスマス？正月？となっているようです。私も自分自身の冬休みを思い出すと、何となく気持ちが温かくなるものばかりです。特に年始のあいさつ回りはとても楽しかったことを覚えています。今の子供達も同じなのではないでしょうか。大人は色々気を遣いますので疲れますが…。

【独り言】「人を惹きつける魅力」

そう言えば小学生中学生の頃、「モテたい」、「チヤホヤされたい」とか、自分には無い魅力を求めて、周りの仲間にアピール活動をしていた覚えがある。これは小中学生によくあることだ。どんなことをしたかというと、先ず「格好つける」こと、髪型をいじったり、流行りの服を着たいと思ったりした。次は、「好きな女の子にちょっかいを出す。」少しでも近くにいたい、自分に関わってもらいたいという感情から、しなくていいことをわざわざする。それは相手にとって迷惑で仕方がないことにも拘らず、懲りずにしつこくちょっかいを出すのだ。そして、人気のあるグループに相手にされたくて、その中の友達にちょっかいを出し、とうとう喧嘩になって先生から怒られる。これで人を惹きつける魅力があるとは言えず、当然の事ながら、異性にモテたり、チヤホヤされたりすることはなかった私澤田。

では、小中学生の頃に女の子から人気があったのはどんな男の子なのか？　大抵が運動のできる男の子か面白いことができる男の子ではなかったか？　足が速い、ドッジボールが強い、野球ができるなど、体育の授業や休み時間の校庭で活躍できる男の子がクラスの女子から視線を集め、「○○君ってスポーツ万能!!」という言葉が最高の褒め言葉だった気がする。面白いことをやる男の子もクラスで目立つので、何となく支持を集めていた。そんな小学生の頃には、運動できる子の陰に隠れてしまっていた子もたくさんいたことも事実だ。そんな訳で、小学生の男の子で「勉強もできて体育もできる子」がかなりの人気者だった。

小学生時代が終わり、中学生という思春期真っ只中に突入するとどうだ。バスケ部のキャプテンとか、サッカー部のストライカーとか運動ができる男の子も相変わらずモテるけど、何となく「勉強のできる男の子」にシフトされてくる。小学校高学年から思春期に入り、女子は大人びるのが男子よりも早いので、中学に入って間も無く「さすがに運動ができるだけじゃダメだ」と思うようになる。男子もこの頃になると、女子にモテるのは「勉強できる奴」かもしれないと薄々気がつき始める。しかし、大抵の場合、男子はテスト前になると「俺今日2時間しか寝てねぇ、マジ眠みぃ～」と、まったく違った角度からアピールしてしまい、大した点数も取れず、女子から「勉強してその点数なの!?」と逆にイメージダウンを招く。私もそうだった。その結果、テスト前になると、一夜漬けで知識を詰め込んだのに「今回全然勉強してねぇ～」という、言い訳を周囲に振り撒き、逆効果を生む。

結論、人を惹きつけようと思って、その時の人気条件を集めても、あまり効果は上がらないということだ。本当に人を惹きつける魅力は、「何ができる」とか「何をやっているか」よりも、それを楽しそうにやっている人だったり、それが面白くてしょうがない人だったり、ひたむきに努力する人なのではないだろうか。そして、挨拶や笑顔、時間を守る、ルールを守る、相手の気持ちに寄り添うことが出来る、多様な考えの他者と協働することが出来る、物事の真理を捉えて正しい判断と言動ができる、我がままを言わない、ケンカをしない…、等の基本的なことがしっかりできる人が、人を惹きつけることができるようだ。

シリーズ「自分を語る」＃１４３

澤田の平成28年度も残すところ3ヵ月、未だ未体験ゾーン真っ只中。しかしながら、昔から言うように、1月は行く、2月は逃げる、3月はさると表現されるように、あっという間に時間は過ぎていきました。この3ヵ月間にも多くの行事があったはずなのですが、あまり印象に残っていません。今考えれば、当時の私は忙殺されていたのではないかと推測します。しかし、卒業式だけは別ですね。卒業式は学校の中で最も大切な行事であり、6年間の学習の最後の学習発表の場でもあります。失敗はしたくありません。私はこれまで担任させて頂いた子供達、保護者の皆様にはこの様に伝えてきました。「弁えた行動をお願いします。凛とした姿をしっかり見ていてください。」

さて、私は卒業式の準備を1月末から始めました。本校はコミュニティ・スクールであり、多くの皆様に厚い支援を頂いています。それ故、来賓の皆様も多いです。案内状に漏れがないかとか、結構神経を使います。今でこそ、地域と学校の関係性について理解が深まりましたが、校長先生は気が気じゃなかったと思います。新米教頭が何をやらかすかと、ドキドキされていたのではないでしょうか。また、卒業式は多くの人がそこに関わりますので、その方々への感謝の気持ちも忘れてはなりません。当日も含め、ＰＴＡ執行部の皆様にも相当お世話になる儀式的行事です。教頭職はそういった細かな動きも理解しておくことが望まれます。私は人と話をしたり、一緒に仕事をしたりすることは苦痛ではありませんが、あまりに学校を助けてくれる人の数が多く、お顔とお名前が一致しないことがしばしばで、焦る場面も多かったです。卒業式の時、教頭は何をやっているか？って考えたことないですよね。実は色々と動いているんですよ。校長教頭は、先ずは来賓の方々を接待します。そして、皆さまを会場へご案内します。その他の仕事として、開式、閉式、来賓紹介、祝電祝詞紹介等々です。これ、結構緊張します。この緊張感があるので、感動で泣いちゃうことはあまりありません。最後まで緊張感をもって卒業式を終えました。式終了後に、私のような者にも、卒業生や保護者の皆様が声を掛けてくださり、大変嬉しかったことが懐かしく思い出されます。

卒業式も終わり…、というより、卒業式の時期には既に平成29年度の活動がスタートしていました。平成28年の11月の段階で既に平成29年度の学校経営構想がすべての先生方と共有されていましたので、3か月をかけ、準備が進んでいた訳です。学校組織としての強みだったのでしょう、職員集団が先を見越して主体的に活動するのですから、活動に立体感があります。私にとってはルーキーイヤー終了となり、妙な緊張感の中にありました。（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）